

小田急線喜多見駅周辺の鉄道高架化事業に伴う一部都市計画の変更、地区計画による駅前広場（地区施設）等の整備、駅前商店街の活性化、そして周辺の住環境の保全を目指したものである。アプルは専門家として基礎調査、基本計画、地区計画案の作成、地元協議会の発足、説明会の立会い、提言のまとめに関わってきた。1988年用途地域指定の一部変更、地区計画の決定の後、駅前通り等の街づくり専門家派遣にも関わってきた。なお、当地区計画は世田谷区初の地区指定となった。（後に、1998年一部改訂）



1988年発行の地区計画パンフレット



地区計画図（改訂後1998年世田谷区HPより）



当時の地元勉強会の一コマ

用途地域	種別	高さ	面積	その他
住宅地区A	住A	15m	約100,000㎡	
住宅地区B	住B	12m	約80,000㎡	
住宅地区C	住C	10m	約60,000㎡	
商業地区A	商A	12m	約40,000㎡	
商業地区B	商B	10m	約30,000㎡	
商業地区C	商C	8m	約20,000㎡	
駅前通り	駅前	15m	約10,000㎡	

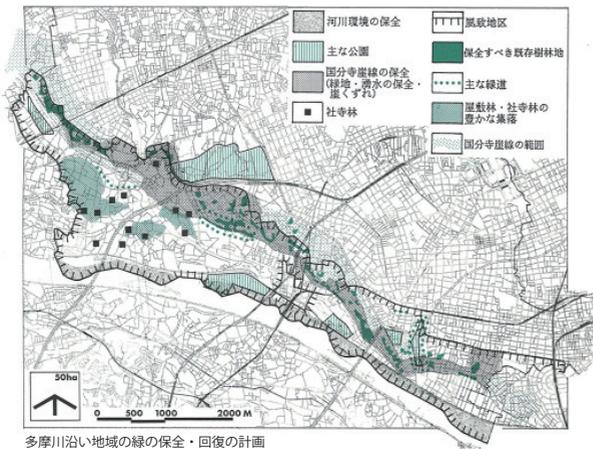
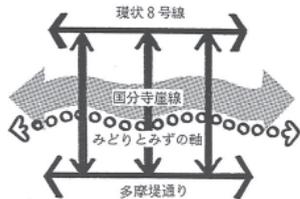
経緯 喜多見駅周辺街づくり計画作成調査(84.9～85.3)／喜多見駅周辺地区街づくり計画(85.6～86.3)／喜多見駅周辺地区街づくり事業計画策定調査(86.9～87.3)／喜多見9丁目公園周辺地区街づくり計画策定調査(87.12～88.3)／喜多見駅南口駅前通り沿道・街づくりコンサルト派遣(87.12～88.3)／喜多見駅南口駅前通り沿道・街づくりコンサルト第二次派遣(88.7～89.3)／喜多見9丁目地区街づくり計画事業化調査(88.10～89.3)

担当：中野、北嶋

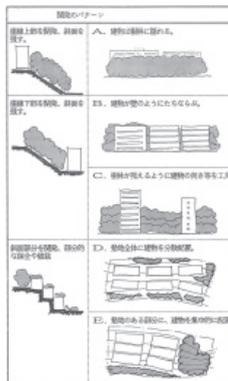
■多摩川沿い地域整備計画

[計画技術研究所と共同/世田谷区] 1985

自然の豊かな景観を有する多摩川沿いの地域について、整備・開発・保全等の街づくりの方向を総合的・体系的に示すことを目的としている。具体的な計画の内容としては、『国分寺産線の景観形成計画』、『環状8号線沿道の新しい都市型産業地に移行する際の、良好な景観イメージの形成と秩序ある土地利用の誘導』、『二子玉川地区の再開発構想』をとりまとめている。作業は世田谷区の担当プロジェクトチームの中に、計画技術研究所とアプルが専門家として加わる体制で進められた。



多摩川沿い地域の緑の保全・回復の計画



斜面敷地の集合住宅開発パターン

経緯 多摩川沿い地域整備計画'85.7～86.3

担当：中野、北嶋、共同：計画技術研究所・林、熊坂、ほか